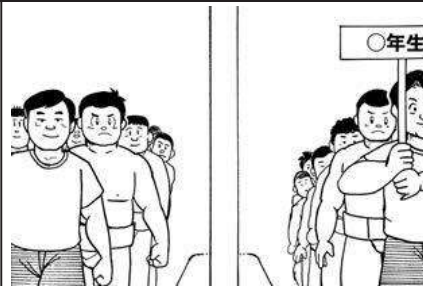
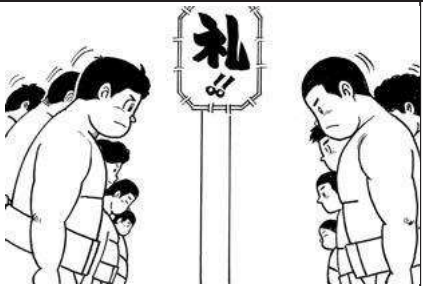
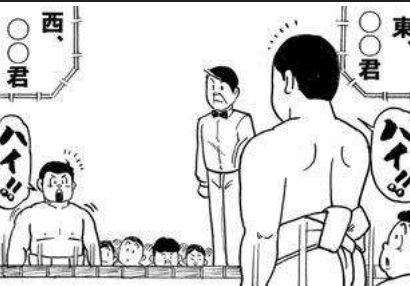

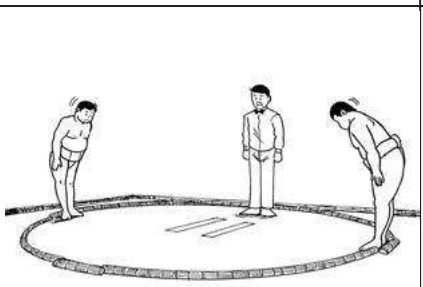
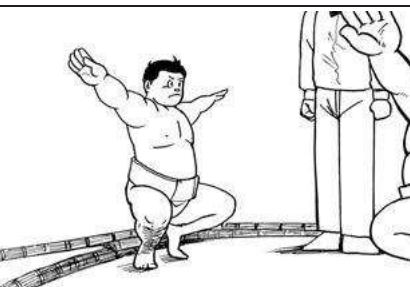
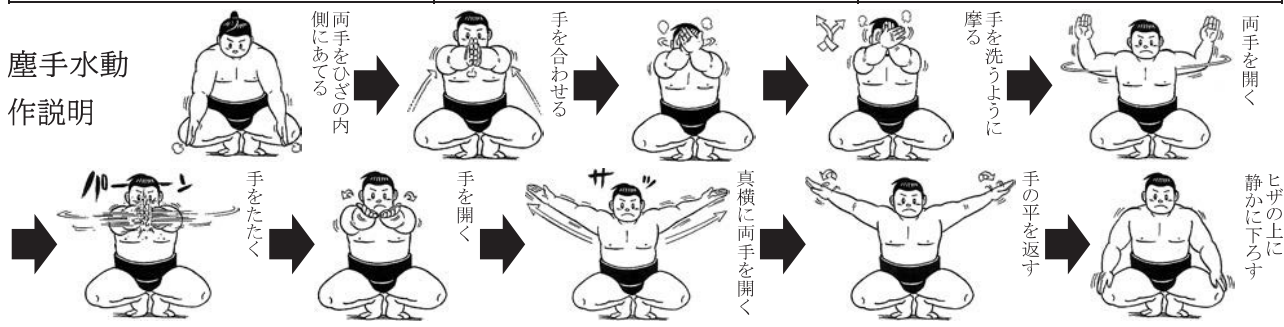


試合の前後の所作

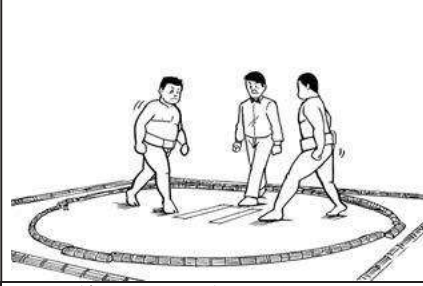
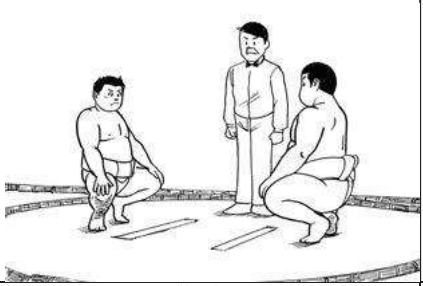
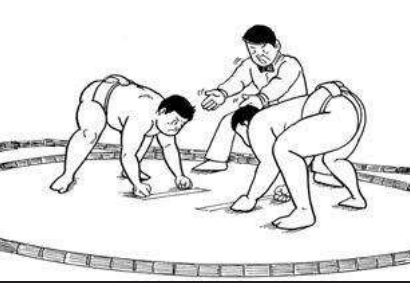
- 土俵に上がってから下りるまで -

※大相撲の所作とは異なる点があります。

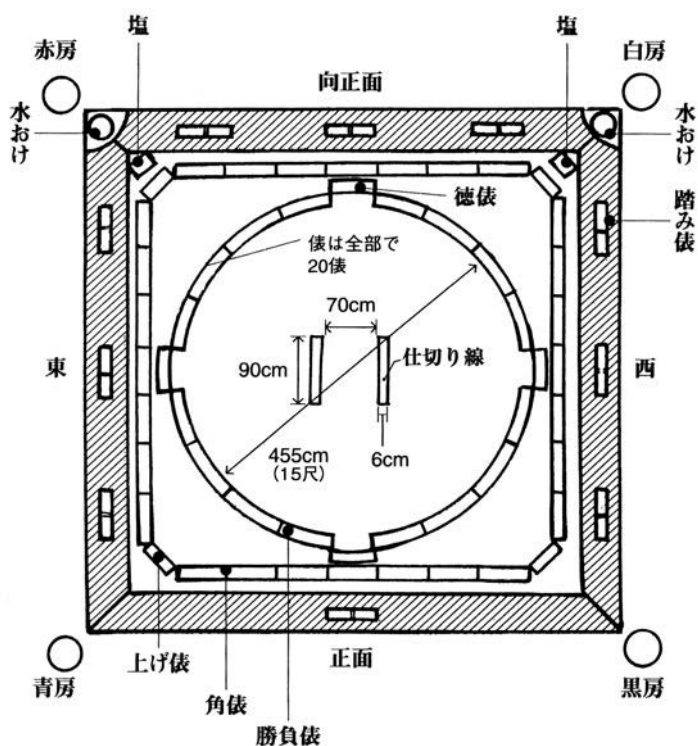
① 入場 <small>にゅうじょう</small>	② 選手全員で礼 <small>せんしゆせんいん れい</small>	③ 土俵へ進む <small>どひょう すすむ</small>
		
<p>選手は誘導係員に従い、支度部屋から会場へ入場する。</p>	<p>土俵溜まり席に並んだら、「礼」のアナウンスにしたがい、全員で礼をする。礼の後、土俵溜まりに腰を下ろす。</p>	<p>「東、～君」「西、～君」と名前を呼んだ選手は立ち上がり、「ハイッ！」と大きな声で返事をして土俵へ進む。</p>
④ 土俵へ上がる <small>よう あ</small>	⑤ 立礼(一回戦～) <small>りつ れい いっ かい せん</small>	塵手水(準々決勝～) <small>ちりちようず じゆんじゆんけつしやう</small>
		
<p>中央の上がり段に片足を掛け、徳俵の内側(二字口)に入る。このとき、俵や蛇の目の砂を踏まないよう気を付ける。</p>	<p>徳俵の内側でお互いに立礼する。</p>	<p>蹲踞の姿勢から、塵手水をする。(塵手水の詳しい動作は塵手水動作説明で解説しています)</p>



塵手水は正々堂々と素手で戦うことを相手に伝える意思表示です。腰を下ろす蹲踞は相手を敬う(思いやる)ことを表し、掌を擦り合わせてたたたく動作は手を清めること、両手を左右に広げて掌を見せる動作は武器を持っていないことを表します。

⑥ 仕切り線へ進む <small>しき せん すすむ</small>	⑦ 蹲踞 <small>そんきよ</small>	⑧ 仕切り <small>しき</small>
		
<p>仕切り線の一手前まで進む。</p>	<p>顎を引き、背筋を伸ばして両掌を膝にのせて腰を下ろす。両膝は十分に左右に開き全身の力を抜く。</p>	<p>蹲踞から立ち上がり、右足、左足と足を開き、脇を締めて腰を深く下ろす。拳を地面に付け、前へ体重を掛ける。</p>

<p>⑨ 試合 <small>しあい</small></p>	<p>⑩ 勝負の決定 <small>しょうぶ けつてい</small></p>	<p>⑪ 立礼 <small>りつ れい</small></p>
		
<p>主審の「ハッケヨイ！」の掛け声により立ち上がり、取組む。</p>	<p>勝負が決まると、主審が東西の勝者側に腕を挙げる。両者は徳俵内側へ戻る。</p>	<p>主審の「礼」の合図でお互いに立礼する。</p>
<p>⑫ 勝者は蹲踞 <small>しょうしや そんきょ</small></p>	<p>⑬ 勝名乗り <small>かちな の</small></p>	<p>⑭ 選手全員で礼、退場 <small>せんしゆぜんいん れい たいじょう</small></p>
		
<p>勝者はその場所に蹲踞する。敗者は土俵を下りる。</p>	<p>主審から「東(もしくは西)」と勝名乗りを受けたら勝者は目礼する。目礼後、土俵を下り、誘導係員の指示に従う。</p>	<p>すべての試合が終了したら、アナウンスと誘導係員の指示に従い退場する。</p>



◎仕切り線

仕切り線は昭和3年一月場所より土俵に引かれました。仕切り線ができたことで、どの取組も同じ位置で仕切りが行われるようになりました。

◎土俵の大きさ

昭和6年に土俵の直径が3m 94 cm(13 尺)から直径4m 55 cm(15 尺)に広がりました。その頃の男性(17 才)の平均身長と体重が 161 cm、53 kg。それが現代では 171 cm、63 kgと、体が大きくなっていることがわかります。

◎土俵上での作法

昔から土俵は神様がいらっしゃる神聖な場所とされ、土俵上での礼、塩まき、勝名乗り等の作法は一つ一つ正しく行うことが大切にされています。また、蹲踞や礼等は相手に対して敬意や感謝を表す作法です。

©琴剣

禁じ手・禁じ技

次に挙げる各行為は、相手に危害を与える危険な手や技であり、禁じられています。

※大相撲の禁じ手とは異なります。

危険な行為を禁じることで、運動競技としての相撲が成り立ってきました。

試合で禁じ手・禁じ技を用いた場合は取り直しや反則負けとなることがあります。

禁じ手

<p>にぎ こぶし つ なぐ 握り拳で突き、殴ること</p>	<p>は て 張り手</p>	<p>とうはつ つか 頭髪を掴むこと</p>
		
<p>あいで ほ お (相手の) 歯が折れる。 め せめはらうしつめい 目が損傷(失明)する。</p>	<p>あいで こまくやぶ (相手の) 鼓膜が破れる。 くち き 口が切れる。</p>	<p>あいで くひいた (相手の) 首を痛める。</p>
<p>め みぞおち 目、または水月などの きゆうしよ つ 急所を突くこと</p>	<p>ままたてみつ つか 前立禰を掴むこと</p>	<p>のど つか 喉を掴むこと</p>
		
<p>あいで め せんしつしつめい (相手の) 目が損傷(失明)する。 こきゆう でき 呼吸が出来なくなる。 ないぞう はれつ 内臓が破裂する。</p>	<p>あいで まわしが ほず (相手の) まわしが外れる。</p>	<p>あいで こきゆう でき (相手の) 呼吸が出来なくなる。 くひいた 首を痛める。</p>
<p>むね ほら け 胸、腹を蹴ること</p>	<p>いっし に し も 一指・二指を持って お かえ 折り返すこと</p>	<p>か 噛むこと</p>
		
<p>あいで りゅうこつこっせつ (相手の) 肋骨が骨折する。 ないぞう はれつ 内臓が破裂する。</p>	<p>あいで へび つ へび (相手の) 指が突き指する。 ゆびこっせつ 指が骨折する。</p>	<p>あいで ひふ さ (相手の) 皮膚が裂ける。 ひふ かのう 皮膚が化膿する。</p>






禁じ技

<p>そ わざ 反り技</p>	<p>かわづが 河津掛け</p>	<p>さぼお 鯖折り</p>
		
<p>あいで (相手)が受け身をとれない。 こうとうぶ 後頭部を強打する。 くびいた 首を痛める。</p>	<p>あいで (相手)が受け身をとれない。 こうとうぶ 後頭部を強打する。 じんたいそんしょう 靭帯を損傷する。</p>	<p>あいで (相手)が腰を痛める。 ひざいな 膝を痛める。</p>
<p>き だ 極め出し</p>	<p>がっしょう 合掌</p>	<p>かも い くび 鴨の入れ首</p>
		
<p>あいで (相手の)肘を痛める。</p>	<p>じぶんで 自分の手が外せなくなる。 て 手の指を骨折する。 あいで (相手)が腰を痛める。</p>	<p>あいで (相手の)首を痛める。</p>
<p>こうとうぶ あいで 後頭部を相手の腹部につける</p>		
		
<p>あいで (相手の)首を痛める。</p>		

決まり手

主な技は次の通りです。

これらの技の他にも決まり手があり、すべて合わせると82手と5つの勝負結果になります。

<p>①突き出し</p>	<p>②押し出し</p>	<p>③寄り切り</p>
		
<p>* ばあいてうし たお 突っ張って相手を後ろに倒す。</p>	<p>りょうで あたま お どひょうがい はこ 両手や頭を押しつけ、土俵外に運ぶ。</p>	<p>く よ あいて どひょうがい だ 組んで寄って相手を土俵外に出す。</p>
<p>④上手投げ</p>	<p>⑤下手投げ</p>	<p>⑥小手投げ</p>
		
<p>そとがわ 外側からまわしをつかみ投げで転がす。</p>	<p>さ こ したて 差し込んだ下手でまわしをつかみ投げる。</p>	<p>あいて さして うえ かか な 相手の差し手を上から抱えて投げる。</p>
<p>⑦掬い投げ</p>	<p>⑧上手出し投げ</p>	<p>⑨下手出し投げ</p>
		
<p>あいて うで わき した 相手の腕を脇の下からすくって投げる。</p>	<p>うわて ひばり だす よう 上手まわしで引っ張り出すように投げる。</p>	<p>したて あいて ひ 下手で相手を引きずるように投げる。</p>

©琴剣

<p>⑩ <small>か な</small> 掛け投げ</p>	<p>⑪ <small>うち が</small> 内掛け</p>	<p>⑫ <small>そと が</small> 外掛け</p>
		
<p><small>うちがわ あし な</small> 内側から足をからめてしつこく投げる。</p>	<p><small>うちがわ あし せなか たお</small> 内側から足をからめ、背中から倒す。</p>	<p><small>どひょうぎわ そとがわ あし か たお</small> 土俵際、外側から足を掛けて倒す。</p>
<p>⑬ <small>あし と</small> 足取り</p>	<p>⑭ <small>* お</small> 突き落とし</p>	<p>⑮ <small>うち む そ う</small> 内無双</p>
		
<p><small>りょうて あいて かたあし かか たお</small> 両手で相手の片足を抱えて倒す。</p>	<p><small>かた ぼら て あ つ お</small> 肩やわき腹に手を当て突き落とす。</p>	<p><small>うち した て ばら ひねたお</small> 内ももを下から手で払い、捻り倒す。</p>
<p>⑯ <small>* だ</small> 吊り出し</p>	<p>⑰ <small>おく</small> 送りだし</p>	<p>⑱ <small>う</small> 打っちやり</p>
		
<p><small>あいて かか つ あ どひょうがい だ</small> 相手を抱えて吊り上げ土俵外へ出す。</p>	<p><small>あいて うし む お つ だ</small> 相手を後ろ向かせ、押すか突いて出す。</p>	<p><small>よ だひょうぎわ きゆう ふ な</small> 寄られた土俵際、左右に振って投げる。</p>